

日本医真菌学会
名誉会員

澤 崎 博 次 先生

(1911－2004)



訃 報

本学会名誉会員澤崎博次先生は、
平成16年12月15日に逝去されました。
謹んで弔意を表します。

日本医真菌学会

理事長 小 川 秀 興

澤崎博次名誉会員の御逝去を悼んで

日本医真菌学会名誉会員

池 本 秀 雄

本学会名誉会員（関東通信病院元院長）澤崎博次先生は平成16年12月15日逝去されました（享年93歳）。ここに会員諸氏と共に衷心より哀悼の意を表します。

先生は明治44年8月8日にお生まれになり、旧制一高を経て昭和10年3月東京帝国大学医学部医学科を卒業されました。

御専攻は肺結核、肺癌を始め広範にわたる胸部疾患領域で、御高名な胸部外科（肺外科）の専門家であらせられました。

医真菌学に関しては、昭和31年わが国で最初の菌球型肺アスペルギルス症の切除治癒例を報告し、更に切除肺の病理組織像を綿密に観察、検討して菌球発生機序についての仮説を立てられました。また、肺切除後に発生する気管支断端アスペルギルス症なる新しい臨床実体を

発表し、縫合糸を絹糸からナイロン糸に代えることで本症を防止できることを立証されました。これらの研究論文は国内外の多くの方々から注目され、文献としてしばしば引用されております（昭和55年日本医真菌学会賞受賞）。

特に菌球型アスペルギルス症に対しては更に深く探究せんとする先生の御意欲は晩年に至っても聊かも衰えることはありませんでした。このことは多くの論文、著書、国際学会発表等からも容易にうかがい知ることができます。

先生の高潔な御人徳と深遠な御学識を偲びつつ、謹んで御冥福をお祈りいたします。

平成17年9月

故 澤崎博次博士の略歴

明治44年8月8日	出生
昭和10年3月	東京帝国大学医学部医学科卒業
同10年4月	東京帝国大学医学部副手（青山外科教室）
同14年11月	傷痍軍人広島療養所
同23年1月	国立広島療養所医務課長
同26年11月	国立療養所久里浜病院医務課長
同31年7月	関東通信病院結核科部長
同41年1月	関東通信病院呼吸器科部長
同41年6月	関東通信病院副院長（呼吸器科部長兼務）
同44年2月	伊豆通信病院院長、関東通信病院副院長
同48年4月	関東通信病院院長
同59年4月	関東通信病院顧問
同63年4月	関東通信病院特別顧問
平成8年3月	関東通信病院特別顧問退任
同8年4月	（株）ボーダレスヒューマンセンター特別顧問
同16年12月15日	逝去
昭和59年	叙勲二等旭日重光章

著 書

肋膜癒着焼切術、医学書院、昭和28年
 胸腔鏡検査並びに胸腔鏡的手術（日本結核全書3巻）、金原出版、昭和33年
 結核性膿胸（澤崎、田島）（日本結核全書9巻）、金原出版、昭和33年
 結核性大空洞の治療（北本、澤崎）、南江堂、昭和35年
 医学用パンチカードの基礎と臨床（吉村、澤崎）、南江堂、昭和43年
 肺アスペルギルス症－菌球型を中心に－（澤崎 編著）、医学書院、昭和59年